

ありそうでなかった、太陽光発電所の「健康診断」サービスを開始

株式会社北海道 PVGS は、2016年12月より、太陽光発電所の「健康診断」サービスを開始いたしました。

売電収入が減ってきた、晴天時でも以前より発電量が少なくなった、と感じる時は発電所の「健康診断」をしてみませんか。



私たちは、体調が悪いと感じた時、いきなり人間ドックのような精密検査を受けるのではなく、まずは病院で医師の診察を受けます。専門家である医師に診断してもらい異常なしと判断されれば、安心感が得られます。異常が見つかった場合には、その状態によって、薬の処方であったり、精密検査を受けたりと対処方法が変わってきます。

これと同じように、太陽光発電所も、売電収入が減ってきたと感じた時に、いきなり全ての機器を点検する必要はありません。むしろ、全ての機器を点検する間は売電ができなくなり、逆効果です。異常が生じて発電量が低下しているのかを調べた上で、その状態によって、必要な検査を行うほうが、経済的にも効果的です。

太陽光発電所の「健康診断」は、発電量のデータを送るだけですので、手軽に診断することが可能です。発電所本来の発電能力に比べて発電量が多いのか、少ないのかを診断します。

発電量データは蓄積し、長期的な期間で判断することで異常検知の精度が上がりますので、毎月1回の定期診断もおすすめです。

料金は、1回 18,000円/件～ ※定期診断の場合は、13,000円/件・月～ となっております。診断の結果、異常と判断できる場合には、精密検査のご提案も可能です。どうぞお気軽にご相談・お問い合わせください。

<本件の取材及び問い合わせ先>

株式会社北海道 PVGS 担当：埴本（タオモト）携帯：090-3217-5223
TEL：011-522-5245 FAX：011-522-5870 E-mail：info@hokkaidopvgs.jp